

浅沼組が自社技術研究所のリニューアル工事に着手

～国内ではまだ事例の少ない、既存建物の改修による ZEB 取得を目指す～

株式会社浅沼組(本社:大阪市浪速区、代表取締役社長:浅沼誠)は、大阪府高槻市にある当社の技術研究所のリニューアル工事に着手しました。本工事では、既存建物の改修による ZEB^{*1}の取得を目指します。国内における大規模な既存建物改修による ZEB 取得事例は未だ少なく、本プロジェクトが実現すれば国内で 3 番目の規模、かつ、大阪府内の建物としては初の事例となる見込みです^{*2}。当社ではリニューアル事業の独自ブランド「ReQuality」を展開しており、本件はその中核プロジェクトと位置付け、本プロジェクトで得られる知見や技術を活用し、今後のさらなる事業拡大につなげてまいります。



全景



エントランスホール

浅沼組技術研究所完成予想図(イメージ)

【技術研究所改修プロジェクトについて】

本プロジェクトでは、国内では事例が少ない大規模な既存建物改修による ZEB 取得に挑戦するとともに、資源循環や自然との共生、多様な働き方への対応など、これからの社会に求められる価値を取り入れております。単なる研究施設の改修ではなく、浅沼組がこれまで培ってきた技術や知見を結集し、自らの施設で実践・検証することで、今後の技術開発やお客さまへのより良い提案、新たな価値創出につなげる実証プロジェクトとして位置付け、未来の建設業の在り方を示すことを目指しています。現在、若手社員を中心とした部署横断のプロジェクトチームが企画・推進しており、さまざまな取り組みに挑戦しています。

なお、本プロジェクトの詳細(万博レガシーにつながる取り組みや、建物詳細など)については、後日改めて発表させていただく予定です。

工期: 2026 年 8 月 1 日～2027 年 5 月 31 日(予定)



全景(2022 年 3 月 14 日撮影)



エントランスホール(工事準備中)

【浅沼組技術研究所について】

当社技術研究所は、浅沼組の創立 50 周年記念事業の一環として 1989 年2月に竣工しました。

基礎技術を基盤にした応用研究や、超高層 RC 造建設技術、免震・制振構造、耐震補強、特殊コンクリートなど独自技術の開発に取り組んできました。関西に拠点を置く数少ないゼネコンの研究施設として、大学や公的機関とも共同で研究も進めています。

創業 125 周年の 2017 年には新たに ANNEX 棟を増築し、時代の変化に応じた新技術を磨いてきました。今回のリニューアル工事を契機に、より良い技術を創造してまいります。

(建物概要)

住所:大阪府高槻市大塚町三丁目 24 番 1 号

規模:地上2階地下1階(改修棟) 構造:鉄筋コンクリート造

敷地面積:4,134.02 m² 建築面積:1,167.87 m²(改修棟)

延床面積:1,972.24 m²(改修棟)



現在の技術研究所

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社浅沼組

戦略企画本部 コーポレート・コミュニケーション部

TEL:06-6585-5508

E メール:asanuma_ir@asanuma.co.jp

※1 ZEB:Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物

※2 2026 年8月 28 日時点。(一社)環境共創イニシアチブの ZEB リーディング・オーナー報告実績を参照